



6章の問い

二度の世界大戦を経験することによって、社会はどのように変化したのだろうか。



●小学校で学んだ人物と主な出来事

↑1 原爆投下直後の長崎(1945年)

どうしてこんなことが起こってしまったのかな。



大正時代		昭和時代													
1914	○権利を求め、運動が盛んに起こる	1925	男子普通選挙が実現する	1929	世界恐慌が起こる	1931	満州事変が起こる	1937	日中戦争が始まる(～45)	1939	第二次世界大戦が始まる(～45)	1941	太平洋戦争が始まる(～45)	1945	広島・長崎に原子爆弾が落とされる戦争が終わる



←2 平塚らいてう

●「学習する時代の見通し」をもとう

…対話…

これから学習する時代について、どのような時代なのか、ほかの人と話し合ってみよう。

その際、小学校で学習した人物や主な出来事、前の章で学習した時代の特徴を踏まえよう。

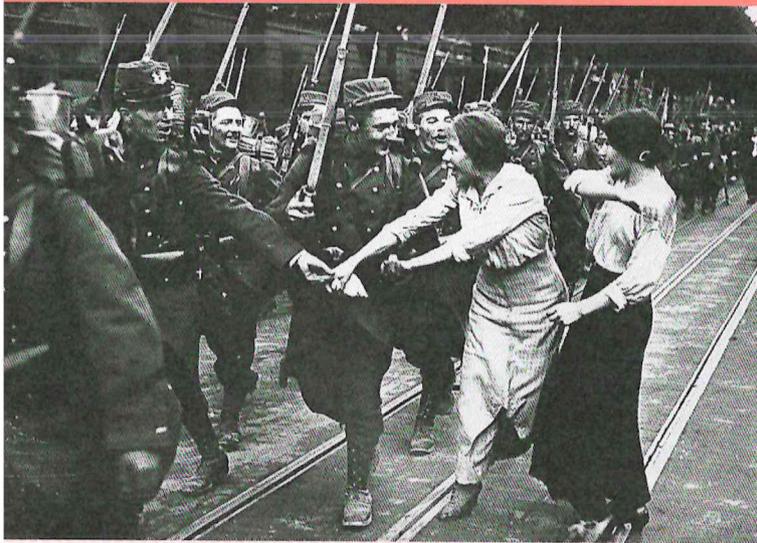
★この時代では、前の章で学習した時代からどのように社会が変化するか、予想を書こう。

この章で学習する節の問い

- 1節 第一次世界大戦と民族独立の動き**
 p.228～235 第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。
- 2節 高まるデモクラシーの意識**
 p.238～245 なぜ、自由で民主主義的な考え方が広まったのだろうか。
- 3節 戦争に向かう世論**
 p.252～259 なぜ、世界や日本では、ファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのだろうか。
- 4節 第二次世界大戦の惨禍**
 p.262～271 なぜ世界や日本は、二度目の世界大戦を起こしてしまったのだろうか。



1節の問い 第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。



↑1 第一次世界大戦の戦地に赴く兵士を見送る女性たち(フランス、1914年) 1914年8月に出征した多くの兵士たちは「クリスマスまでには帰れる」と考えていました。

どうして、戦争に行くのに兵士たちも女性も笑顔なのかな。



↑2 ガスマスクをかぶる兵士(1915年)



↑3 兵器工場で働く女性たち(フランス、1917年)

1 第一次世界大戦の始まりと総力戦



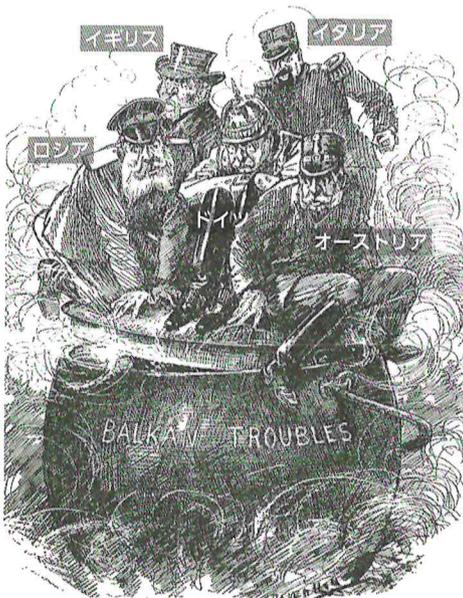
学習課題

第一次世界大戦は、それまでの戦争とどのような違いがあったのだろうか。

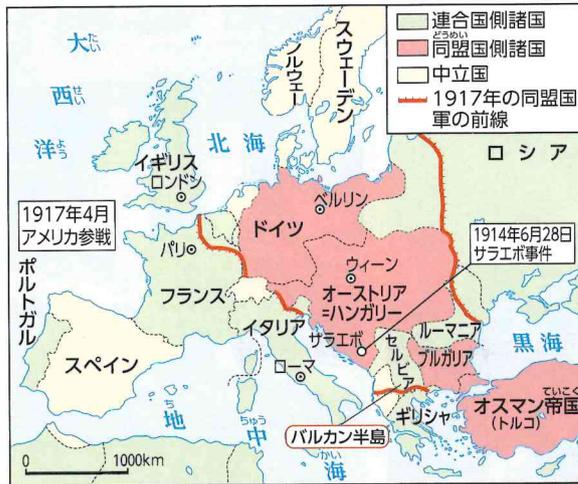
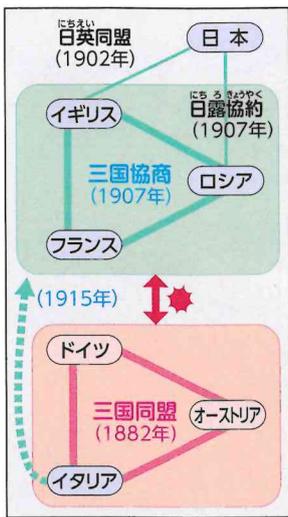
ヨーロッパ諸国の対立

19世紀末、急速に工業化を進めたドイツは、海軍を増強して世界各地に進出しようしました。このため、すでに海軍を増強して植民地支配を広げていたイギリスと対立するようになりました。ドイツがオーストリア・イタリアと三国同盟を結ぶと、これに対抗してイギリスはフランス・ロシアと三国協商を結びました。双方の陣営とも、アジアやアフリカでの植民地の拡大を目指して帝国主義政策をとる列強の結びつきでした。

一方、バルカン半島では、オスマン帝国(トルコ)の支配が弱まったため、南下政策をとって半島に進出しようとしたロシアと、半島に勢力を伸ばそうとするオーストリアが対立していました。ロシアは、セルビア人など同じスラブ民族への影響力を拡大しようとしたのに対して、オーストリアは、同じゲルマン民族のドイツの助けを得て半島に勢力を伸ばそうとしました。そのため、バルカン半島は争いが絶えず、「ヨーロッパの火薬庫」とよばれました。



↑4 バルカン半島を風刺した絵 バルカンという沸騰する大釜を、5か国が押さえつけています。



未来に向けて インフルエンザの世界的な流行 平和・安全

1918年から20年にかけて、インフルエンザウイルス感染症が全世界的に大流行しました。感染拡大の一因は、第一次世界大戦に参加した兵士の移動や、母国への帰還にあったと考えられています。死亡者数は2000万人～4000万人といわれ、日本の死者も40万人前後と推計されています。

↓7 マスクをつけて行進する軍隊(アメリカ、1918年)

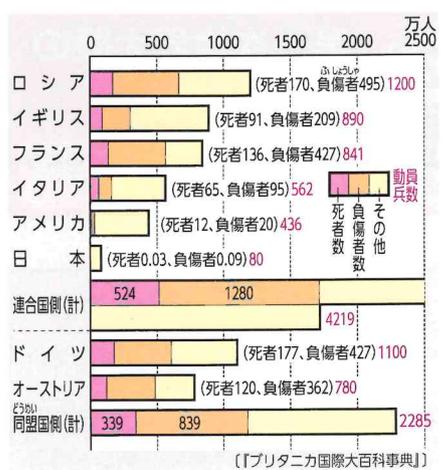


第一次世界大戦の始まり

1914(大正3)年、オーストリアの皇太子夫妻が、サラエボでセルビアの青年によって暗殺される事件が起きました(サラエボ事件)。そのためオーストリアは、ドイツの支援を受けてセルビアに宣戦布告をしました。これをきっかけに、オーストリア・ドイツ・オスマン帝国などの同盟国と、セルビア側についたロシア・イギリス・フランスなどの連合国の間で、第一次世界大戦が始まりました。三国同盟に属していたイタリアは、初め中立を宣言しましたが、領土をめぐるオーストリアと対立していたため、翌15年に連合国側に立って参戦しました。

総力戦と新兵器の登場

参戦した各国では愛国心が高まり、国民が戦争を強く支持しました。そのため、人々の予想に反し、戦争は長期化しました。ヨーロッパ列強は植民地の人々も動員し、アフリカやアジアの一部も戦場となったため、初めて世界規模の戦争になりました。徴兵された男性に代わって女性や青少年が軍需工場で働くなど、民間人も協力する総力戦となりました。戦車・飛行機・潜水艦や毒ガスなどの新兵器が使われ、戦死者や被害もきわめて大きくなりました。列強各国の政府は、労働者や女性の支持を得るため彼らの権利を拡大する政策をとり、植民地に対しては、本国の戦争に協力する代わりに戦後の自治を約束しました。



第一次世界大戦の動員兵数と犠牲者数 資料活用 p.210と比較してみよう。

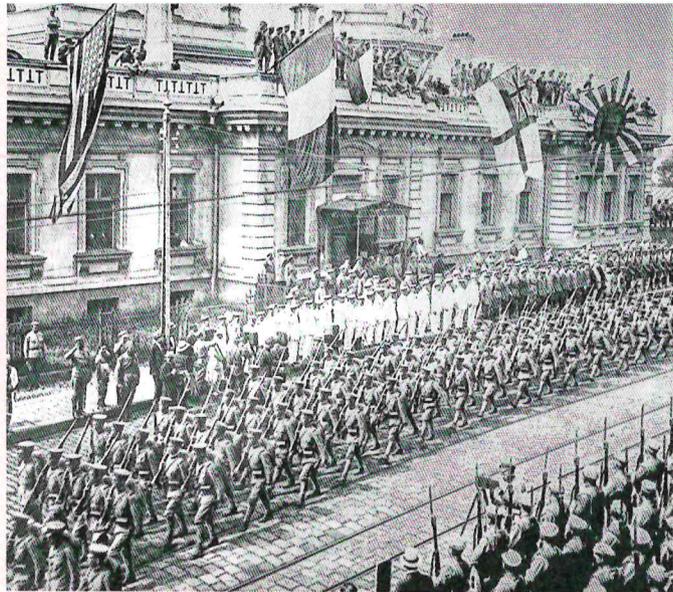
- 三国協約を結んだ国々と、その側に立った国々を連合国といいます。
- イギリスの植民地であったインドからも、人々がイギリスの兵士となって第一次世界大戦に参加しました。

確認しよう 第一次世界大戦とそれまでの戦争との違いを、本文から三つ書き出そう。

説明しよう 総力戦となったことで、女性や植民地の人々にどのような影響があったのか、説明しよう。



すべての国家権力を、労働者や農民の代表者による会議(ソビエト)に移す必要がある！ 議会制の共和国ではなく、ソビエトによる共和国をつくる必要がある！



↑2 シベリア出兵でロシアのウラジオストクを
行進する日本軍(1918年)

どんな国がシベリア出兵に参加したのかな。



↑1 レーニンの演説の様子 演説の内容は1917年4月のものです。

2 第一次世界大戦の拡大と日本

1節の問い 第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。

中国に対する二十一か条の要求

- 一、中国政府は、ドイツが山東省にもっている一切の利権を日本に譲ること。
- 一、日本の旅順・大連の租借の期限、南満州鉄道の利権の期限を99か年延長すること。
- 一、中国政府は、南満州および東部内蒙古における鉱山の採掘権を日本国民に許可すること。
- 一、中国の地方警察の一部を、日中合同にすること。

[一部要約・抜粋]

資料活用 これらのうち、日本が実現させた要求はどれか、本文も踏まえて考えよう。

解説① 民族自決
各民族が、ほかに干渉されることなく、政治などさまざまな事柄を、自分たちで決めるべきだとする考え方です。第一次世界大戦後から本格的に世界に広がりました。

学習課題 日本は、第一次世界大戦やロシア革命にどのように関わったのだろうか。

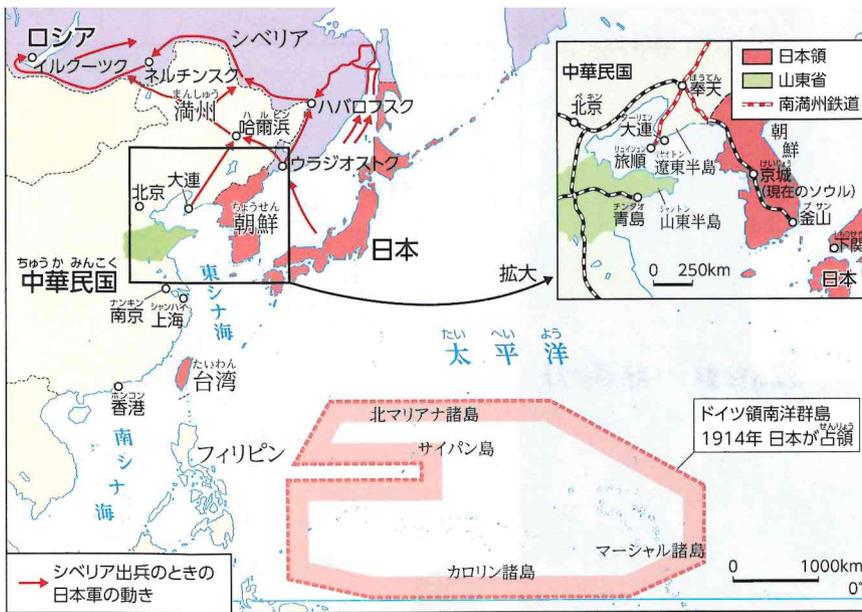
第一次世界大戦と日本 1914(大正3)年、日本は、日英同盟を理由にドイツに宣戦布告し、連合側として参戦しました。

ヨーロッパ諸国が戦っている間に、中国に力を伸ばそうと考えたためです。日本は、中国におけるドイツの拠点であった山東省の青島や、太平洋にあるドイツ領の南洋群島を占領しました。

さらに日本は、翌15年、袁世凱が率いる中華民国に二十一か条の要求を提出しました。この要求では、山東省にあるドイツの利権を日本に譲るほか、旅順・大連の租借期間の延長、満州やモンゴルにおける日本の利権の拡大、製鉄事業を日中共同で行うことなどの内容が示されました。これに対し、中国では反対運動が起こり、中国政府も抵抗しました。しかし日本は、中国の地方警察を日中合同にするなど、一部の要求は撤回したものの、その他の主要な要求は中国に認めさせました。この問題をきっかけに、中国での反日運動が本格的に始まり、欧米列強の日本に対する不信感も高まりました。

ロシア革命 第一次世界大戦中、ロシアでは、食料や物資の深刻な不足に苦しむ民衆の不満が高まっていました。

1917年、「パン・平和・自由」を求める女性や労働者の抵抗運動を



↑3 第一次世界大戦での日本の動き

きっかけに、革命が発生しました。各地に労働者や兵士による代表会議(ソビエト)が結成され、皇帝は退位しました。

その後成立した臨時政府も戦争を続けたため、革命運動の指導者レーニンらが武力で臨時政府を倒し、ソビエト中心の社会主義国家を世界で初めて誕生させました(ロシア革命)。ソビエト政府は、当時、戦勝国が敗戦国の領土の一部を併合し、賠償金を請求することが通例であったなか、交戦国に無併合・無償金・民族自決の条件で戦争をやめるように呼びかけました。しかし、この呼びかけは受け入れられず、ソビエト政府は単独でドイツと講和条約を結びました。ソビエト政府は資本家の財産の没収や国有化を進めましたが、抵抗する旧ロシアの勢力などとの間で内戦状態となりました。

シベリア出兵とソ連の成立 皇帝が支配するロシアが社会主義革命で倒れたことは、世界に衝撃を与えました。資本主義諸国は、ロシア革命の影響によって国内の社会主義運動や労働運動、植民地での民族独立運動が活発化するのをおそれました。また、連合国は、旧ロシア軍の戦線復帰を期待しました。日本は、満州などに在住する日本人居留民が内戦で被害を受けることを心配しました。こうして1918年、イギリス、アメリカや日本は、ソビエト政府を倒して革命の広がりを抑えるために、シベリアに軍事干渉を行いました(シベリア出兵)。しかし、この試みは失敗し、1922年には共産主義を目指すソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)が成立しました。

未来に向けて **その国 祖国の音楽を 紹介したドイツ兵** 人権・多文化

1899年、戦争で発生した捕虜を人道的に処遇しなければならないという内容の条約が採択されました。日本もこの条約に参加し、日露戦争、第一次世界大戦ではそれののち捕虜を扱いました。大戦中には、板東俘虜収容所(徳島県)で、ドイツ兵捕虜による日本初の『第九』(ドイツの作曲家ベートーヴェンの曲)の演奏が行われるなど、さまざまな交流も生まれました。

↓4 地域の子どもたちと交流するドイツ兵 [徳島県 鳴門市ドイツ館蔵]



解説② **社会主義と共産主義**

労働者を中心とする平等な社会を目指すとする社会主義(→p.167)をさらに進め、資本家・労働者という階級もなくし、あらゆる面において平等にしようとする考え方が共産主義です。共産主義を目指す国家は、労働者の利益を最優先し、貧富の差がない理想の社会の実現を目指しました。そのため、共産党による一党独裁、企業家や地主の追放、工場や銀行の国有化、計画経済などの政策をとりました。

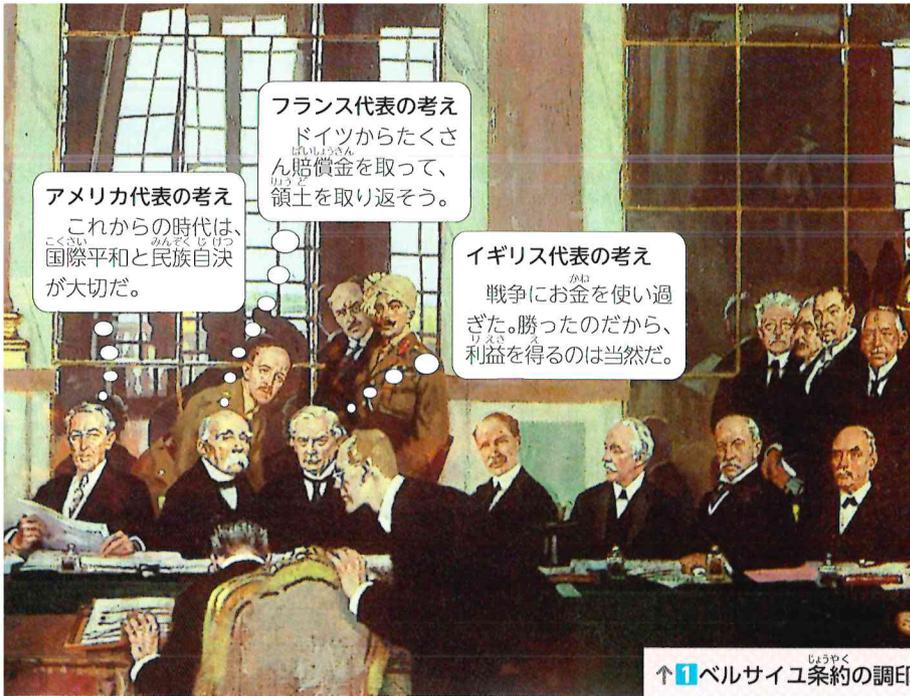


→5 ソ連の国旗

- ✓ 日本が第一次世界大戦中にとつた行動を、本文から書き出そう。
- 説明しよう 日本が、第一次世界大戦に参戦した理由と、シベリア出兵を行った理由をそれぞれ説明しよう。

縦文

30	文
31	弥生
32	2
33	3
34	4
35	古墳
36	6
37	飛鳥
38	奈良
39	9
40	平安
41	11
42	12
43	鎌倉
44	南北朝
45	室町
46	戦国
47	安土・桃山
48	江戸
49	19
50	明治
51	大正
52	20
53	昭和
54	平成
55	21
56	令和



アメリカ代表の考え
これからの時代は、国際平和と民族自決が大切だ。

フランス代表の考え
ドイツからたくさん賠償金を取って、領土を取り返そう。

イギリス代表の考え
戦争にお金を使い過ぎた。勝ったのだから、利益を得るのは当然だ。

↑1ベルサイユ条約の調印



↑2第一次世界大戦後のヨーロッパ



勝利した連合国側の考えが国によって違うけれど、なぜなのかな。

3 第一次世界大戦後の欧米諸国

1節の問い 第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。

解説 **委任統治領**
国際連盟の監督の下で、戦勝国が統治権行使した地域のことです。第一次世界大戦後に旧ドイツやオスマン帝国領の処分を決める際、植民地獲得競争を防止するために考案されました。

ウィルソン
1856~1924

国際連盟の提唱者

1913年から1921年までアメリカの大統領を務めたウィルソンは、大統領になる前は大学で政治学を教えていました。大統領就任後は、政治の専門的な知識を生かして、第一次世界大戦への参戦、民族自決(→p.231)の提唱、国際連盟の設立など、さまざまなことを決断してきました。ノーベル平和賞を受賞する一方、アメリカの国際連盟加盟を実現させることができず、苦勞もたえませんでした。

学習課題 第一次世界大戦後の欧米諸国では、どのような変化が起こったのだろうか。

ベルサイユ条約と民族自決

1918(大正7)年秋に、ドイツで革命が起こり、皇帝が退位しました。ドイツの臨時政府は直ちに連合国と休戦条約を結び、第一次世界大戦は、連合国側の勝利で終わりました。800万人以上の戦死者を出す大戦争でした。翌19年、パリで講和会議が開かれ、**ベルサイユ条約**が結ばれました。この条約は、イギリス・フランス・アメリカなど戦勝国の利益を優先し、ドイツに対して報復するという内容でした。

ドイツは、ばく大な賠償金の支払いを義務づけられたうえ、軍備を縮小され、海外のすべての植民地と本国の領土の一部を失いました。そのうち赤道以北の南洋群島は、日本の委任統治領となり、中国の山東省での利権も日本に引き継がれました。オーストリアなどほかの敗戦国の領土も、大幅に縮小されました。また、講和会議ではアメリカ大統領ウィルソンが、**民族自決**の考えを呼びかけました。これにより、ドイツ・オーストリアの支配下にあった東ヨーロッパの諸民族は独立を認められました。このため、アジア・アフリカで民族自決を求める運動が活発になりました。

国際連盟の成立

講和会議でのウィルソンの提案をもとに、1920年、国際紛争を平和的に解決する世界初

歴史プラス+ 人種差別撤廃への道

パリ講和会議では、国際連盟の規約もつくられました。その際日本は、人種差別撤廃を規約に盛り込むことを提案しました。主要国政府が参加する国際会議で人種差別撤廃が提案されたのは、これが初めてでした。このころ、日本人の移民先(→p.219)であったアメリカなどでは日本人への差別が問題になっていました。この問題の根底に人種差別があると考えていた日本は、その撤廃を提案しましたが、植民地を多くもち、国内に人種問題を抱えていたイギリスやアメリカが強く反対したため、否決されました。この提案は廃案となった



ものの、第二次世界大戦後に成立した国際連合憲章では第1章に盛り込まれました。

←3 新渡戸稲造(1862～1933)と妻のメアリ 新渡戸は、国際連盟事務局次長を務め、国際平和のために尽くしました。
[新渡戸記念館提供]

未来に向けて 社会に羽ばたく女性たち

人権・多文化

欧米諸国では、第一次世界大戦で戦場に向かった男性を女性が支え、軍需工場で働くなどして貢献しました。その働きが認められ、女性が参政権を獲得しました。この影響を受け、日本でも女性の社会進出が進み(→p.248)、女性参政権獲得の運動も活発になりました(→p.241)。



↑4 投票をする女性(イギリス, 1923年)

年	国名
1893	ニュージーランド
1917	ロシア(ソ連)
1918	イギリス
1919	オーストリア、ドイツ、オランダ
1920	アメリカ
1944	フランス
1945	日本、イタリア、インドネシア
1947	中国
1948	韓国
1971	スイス

↑5 女性の選挙権が認められた年
↓6 有権者数のうちわけ(イギリス, 1918年) **資料活用** 選挙権をもつ人口のうち、女性の占める割合はどれくらいだろうか。

以前から選挙権をもつ男性有権者数	約840万人
新たに選挙権を獲得した男性有権者数	約460万人
選挙権を獲得した女性有権者数	約840万人
有権者数合計	約2140万人

の組織として国際連盟が設立され、スイスのジュネーブに本部が置かれました。イギリス・フランス・イタリア・日本が常任理事国となりましたが、アメリカは議会の反対で参加できず、社会主義国のソ連や敗戦国のドイツは、初めは加盟を認められませんでした。そのため、国際連盟は強い力をもてませんでした。

民主主義の高まり

戦後のヨーロッパ諸国は、総力戦の下で苦しい生活を耐え抜いた国民の要求に応えるため、国民の政治参加や権利を拡大する政策を打ち出していきました。イギリスでは女性に参政権が認められ、労働者の支持を受けた政党が初めて政

権を獲得しました。また、ドイツは1919年、ワイマール憲法を定めて共和国となりました。この憲法は、国民主権、満20歳以上の男女普通選挙のほか、国民が人間らしく生きる権利(社会権)や労働者が組合を結成する権利(団結権)を定めており、当時、世界で最も民主的な憲法でした。しかし、敗戦による混乱が続き、ばく大な賠償金が重荷となって経済などが安定しませんでした。

選挙権は、アメリカや日本でも拡大されました。アメリカは総力戦で消耗したヨーロッパ諸国に代わって発展し、1920年代に世界一の経済力をもつようになりました。



↑7 紙幣で遊ぶドイツの子ども 第一次世界大戦後のドイツでは、通貨の価値が暴落し、紙幣は紙切れ同然になりました。パンの値段は一時、それまでの約5000億倍になりました。

確認しよう ベルサイユ条約は戦勝国と敗戦国にとってどのような内容だったか、それぞれ書き出そう。

説明しよう 第一次世界大戦後の欧米諸国に起こった社会の変化について、説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土桃山
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



↑1 五・四運動に参加し天安門に集まる人々 (1919年12月)

中国や朝鮮の人々は何を求めて運動を起こしたのかな。



中国の政治家がみたパリ講和会議

われわれの夢は破れた。パリ講和会議の決定は、弱小民族の自由と権利を犠牲にしたもので、平和会議としての実質を失った。…われわれにとって自主性を失った恥は、土地や山河を奪われた恥よりもいっそう耐え難い。山東を奪った者(日本)だけがわれわれの敵ではない。この強盗世界の一切の強盗団体(講和会議に参加した国々)と秘密外交という強盗行為がすべてわれわれの敵である。

[李大釗『李大釗選集』より、一部要約・抜粋]

吉野作造(→p.238)がみた五・四運動

中国人の排日感情は、日本の官僚・軍閥・財閥に対する反感である。われわれは軍閥・財閥の対中国政策を制限させ、日本国民の真の平和的要求を隣邦の友人に明白にしなければならぬ。私たちは、愛する日本を官僚・軍閥の手より解放しようと努力してきた。北京における運動は、この点において我々と目標が同じである。

[『吉野作造選集』より、一部要約・抜粋]

4

アジアの民族自決と国際協調

1節の問い 第一次世界大戦は、世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。



学習課題

第一次世界大戦後、アジアではどのような運動が起こったのだろうか。

年	主な出来事
1914	第一次世界大戦(～1918)
1915	日本が中華民国に二十一か条の要求を提出(→p.230)
1917	ロシア革命
1918	シベリア出兵
1919	三・一独立運動(朝鮮) ガンディーの非暴力・不服従運動(インド) パリ講和会議→ベルサイユ条約締結 五・四運動(中国) ワイマール憲法成立(ドイツ) 国際連盟の設立(→p.232)
1920	ワシントン会議(1921～22)
1921	<ul style="list-style-type: none"> 日英同盟が廃棄される 中国の主権を尊重するための条約が結ばれる 米・英・日・仏・伊5か国の主力艦の保有制限が決まる(米5:英5:日3:仏1.67:伊1.67)
1922	ソ連の成立(→p.231)
1928	パリ会議(不戦条約) <ul style="list-style-type: none"> 国際紛争の解決の手段としての戦争を放棄し、話し合いで解決することを15か国が約束する
1930	ロンドン海軍軍縮会議 <ul style="list-style-type: none"> 米・英・日の補助艦の保有制限が決まる(米10:英10:日7)

↑2 第一次世界大戦開始から1930年までの動き

朝鮮の

三・一独立運動

日本の植民地となっていた朝鮮では、民族自決の考え方に刺激を受けた人々が、1919(大正8)年3月1日、京城(現 ソウル)で独立宣言を行い、全土にデモが広がりました(三・一独立運動)。朝鮮総督府は、警察や軍隊を動員してこれを抑えました。以後日本政府は、朝鮮を武力で抑える政策を転換し、集会や言論、出版における一定の自由を認めていきましたが、朝鮮の独立を目指す運動は続きました。

中国の

五・四運動

中国はパリ講和会議で、山東省の旧ドイツ利権の中国への返還を求めました。しかし列強に退けられ、日本に利権が引き継がれたため、1919年5月4日に北京で学生から抗議行動が起こり、中国全土に広がりました(五・四運動)。これを受けて、中国政府はベルサイユ条約調印を拒絶しました。

民衆の団結による抵抗運動の重要性を痛感した孫文は、同19年に中国国民党を結成しました。そして、1921年に結成された中国共産党やソ連と協力して、国内の統一に向けた動きを強めました。しかし、中国では各地の軍閥によって支配される状況が続きました。

インドの民族運動

第一次世界大戦中、イギリスは植民地のインドに対して自治を約束し、多くのインド人兵士を動員しま

三・一独立運動など、朝鮮で日本に対する抵抗運動が起こるなか、朝鮮固有の文化や芸術に深い関心を持ち、それを守るようとした日本人もいました。

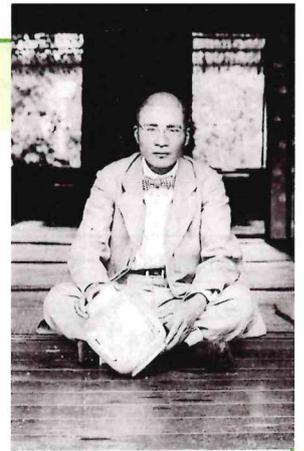
文芸評論家で後に「民芸」という言葉を提唱した柳宗悦は、朝鮮独自の磁器など、朝鮮の工芸作品を高く評価していました。そして、三・一独立運動が起こると朝鮮の人々の立場から考えることの必要性を日本人に投げかけました。

林業技術者の浅川巧は、朝鮮の森林の回復などに努めました。浅川は朝鮮で生活するうちに、朝鮮の磁器のすばらしさに気づき、これらの工芸作品を守るため、柳と共に朝鮮民族美術館をつくりました。この美術館は1924年、京城(現 ソウル)に完成しました。

民本主義を唱えた吉野作造(→p.238)も民族自決の考えを支持し、三・一独立運動に理解を示しました。



↑3 柳宗悦(1889~1961)と朝鮮のつぼ [東京都 日本民藝館提供]



↑4 浅川巧(1891~1931) [山梨県 北杜市 浅川伯教・巧兄弟資料館 ©浅川文彦提供]

した。しかし、戦後のイギリスによるインド統治の改革は不十分で、民族運動を弾圧する法律もできました。そのためイギリスからの独立を望むインドでは、ガンディーの指導で、非暴力・不服従の抵抗運動が起こり、完全な自治を求める声が高まりました。

ガンディー

1869~1948

インドの民族自決を進めた指導者

南アフリカでの差別を体験したガンディー(→p.175)は、インドへの帰国後、非暴力・不服従運動を指導しました。イギリス製の綿製品を使わず(→p.174)、インドの伝統的な方法で作られた綿製品を使う運動や、塩税に抗議した「塩の行進」などで、庶民から広い支持を受け、独立運動を進めました。

↓5糸をつむぐガンディー



ワシントン会議と国際協調

パリ講和会議では、中国や太平洋地域の問題は十分に話し合われませんでした。そこで、

アメリカの呼びかけで1921年から翌22年にワシントン会議が開かれました。この会議ではワシントン海軍軍縮条約が締結され、列強の海軍の主力艦(戦艦など)保有量が制限されました。また、日・米・英・仏など9か国により、中国の主権尊重、門戸開放や機会均等などを定めた条約も結ばれ、日本が得た山東省の旧ドイツの利権も中国に返還されました。他方で、日本外交の中心であった日英同盟は廃棄され、それに代わって日・米・英・仏は、太平洋地域での勢力拡大を行わず、現状の維持を約束した条約を締結しました。

日本の軍部の一部は、中国や太平洋地域への日本の進出をアメリカが抑えようとするもののだとして、会議の結果に不満をもちました。しかし日本政府は、その後もパリで不戦条約、ロンドンで海軍軍縮条約を締結するなど、国際協調の方針をとり続けました。

一方、中国も国際連盟に加盟し、国際社会での存在感をしいに高めていきました。ソ連も、1920年代から30年代前半にかけて、日本を含む主要国と国交を樹立し、国際連盟に加盟しました。

ワシントン会議で中国に関して決められたことを、本文から書き出そう。

1919年に朝鮮・インド・中国で民族運動が起こった理由を説明しよう。

縦文 1 弥生 2 3 4 5 古墳 6 7 飛鳥 8 奈良 9 10 平安 11 12 13 鎌倉 14 南北朝 15 室町 16 戦国 17 安土 18 江戸 19 明治 20 大正 21 昭和 平成 令和